



ホームページ⇒ ふるさと上越 

ふるさと上越ネットワークたより

編集・発行 ふるさと上越ネットワーク事務局

〒101-0064 東京都千代田区神田猿樂町 2-1-2

TEL.03-5244-5138 FAX.03-3294-6106

●本庁担当:上越市 総合政策部 多文化共生課

〒943-8601 新潟県上越市木田1-1-3

TEL.025-520-5674



撮影：中村 千栄子さん

「たより」No.287 目次

会員数と「ふるさと市場」報告	1
Jネットの活動とお知らせ	2
同窓会・郷友会コーナー	4
とれたて上越	4
上越の行事・展示会	
上越の話題	5
「参勤交代うおーく」から3年、上越・加賀両市の交流、深まる	
上越産品販売のお知らせ	5
鯉橋師匠高座予定	5
いにしえ上越	6
エドウィン・ダンがやって来た頃、 直江津は鉄道建設の真っ只中だった。(その2)	
俳句ひろば	7
上越市からのお知らせ	8
Jネットからのお知らせとお願い	8

※ホームページ「ふるさと上越ネットワーク」では、
「たより」を全ページカラーでご覧いただけます。

会員数と「ふるさと市場」販売報告

- (1) 会員は604名(令和5年4月20日現在)です。(令和5年度目標610名)
- (2) 「ふるさと市場」の販売取次状況(令和5年3月) 130点 221,776円 (前年同月 128点 224,107円)

1. サロンは、3月9日、4月13日にオンラインで開催

今回は、令和5年5月11日（木）次々回は令和5年6月8日（木）。ぜひご参加下さい。

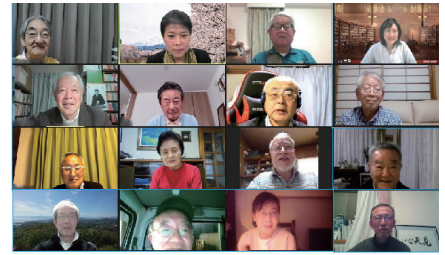
3月、4月も話題は多岐にわたり、お孫さんとともに過ごしたロッテリゾートと高田の桜見物のお里帰り、梅ノ木のメジロと挿し木から育った立派な桜、俳句三昧から演奏会のお手伝い他様々な話題、まさに十人十色ならぬ十人十話でした。なかでも、T会員からは、WBCにふれ、生き方の意味を問う芸術を引き出して、スポーツも芸術との言には説得力がありました。

それにしても、オンライン・サロンは、同時に1人しか話せませんが、逆に、皆さん全員から順番にお話が聞ける利点も大きいと今さらながら気づいた次第です。

【次回以降のサロン】

サロンは、毎月第2木曜日に開催します。今回は、令和5年5月11日（木）17:30 - 19:00、オンラインでの開催を予定しています。

ご照会やご参加は、事務局（宮里）k.miyazato@araip.cp.jp、TEL：03-5244-5138 までお願いします。



3/9・4/13 ご参加のみなさん

2. 有志による対面懇親会を再開

会員有志より強いご希望もあり、非公式ながら、対面懇親会を3月14日（火）、御徒町・吉池食堂で行いました。3年と1ヶ月ぶりの開催です。

個室にて全員着席、弁当スタイルで、しかも事前に出席者数を絞りましたが、それでも以前のサロン常連メンバーを中心に、14名が参加しました。懐かしい友との久方ぶりの再会は、お互いの変わりなきを称えているうちに、M会員差入のうまい地酒も加わって、いつものサロンに戻り、忌憚のなさすぎるやり取りも復活、実に楽しい時間でした。勢いは2次会まで続き、早くサロンの復活をとの声で締めくくりました。

3. 4年ぶりに春のふるさと交流会を開催

高田城址公園観桜会に合わせて、4年ぶりに、4月2～3日に上越でふるさと交流会を開催しました。コロナ禍もあり、市外会員参加者を9名に絞り、日程も1泊2日に短縮。宿泊は高田ターミナルホテルの個室とするなど感染対策を図っての実施となりました。それでも、各所で歓迎を受け、参加者一同、終始、笑顔と笑い声に満ち、大満足の交流会となりました。

以下は、そのご報告です。

4月2日（日）は、中島食堂での交流会。25名が出席、見事な満開の桜のもと、あっという間の2時間でしたが、中川市長はじめ皆様には最後までお付き合いいただき、和気藹々、土産話もたっぷりとできました。地元紙にも一面で報じられ、素晴らしい交流会となりました。



明治31年建造の第二号石蔵見学へ

翌日も、岩の原葡萄園での雪室とワインセラーの親切なご案内は大変わかりやすく、続いて瞽女ミュージアム高田では、瞽女文化の奥深さと斎藤画伯の瞽女画に感動したうえに、あまりにも素晴らしい事務局長小川様のお人柄に触れました。



市長さんを囲んで



市長さんからご挨拶

※第二号石蔵は上越市の指定文化財に指定されています。

そのうえ、昼食時には、お馬出しプロジェクトの宮越紀祢子代表からお話をお聞きし、京都出身ながら、高田商店街の復活を図るご活動に、感激いたしました。お弁当ながら、宇喜世ではふるさとのおいしいお食事を大いに楽しみました。午後は八坂神社で宮司様の話を伺い、北前船やお饌米、そして大御神輿を拝見、最後は、三和区のギャラリー葵にて飯野様からトミオカホワイト画の説明を伺いながら、抹茶で締めました。

初日の花見を兼ねた交流会や行く先々での大歓迎をうけて、参加者一同、ふるさとのありがたさをあらためて噛みしめた2日間でした。



宮越紀祢子さんからお話

4. 令和5年度定時総会ならびに懇親会のお知らせ

コロナ禍のため、取り止めておりました定時総会ならびに懇親会を下記にて開催いたします。(同封のご案内も合わせてご覧ください。)

なお、感染対策のため、出席者は60名として、円卓・着席にて行います。

日 時：5月27日(土) 15:00 - 18:00。

会 場：アルカディア市谷会館大雪の間にて開催。参加費：5,500円。

懇親会では懐かしいふるさとの味、それに空くじなしの「くじ引き」、上越産品の出店も復活です。

ご出席は事前に同封葉書などで事務局(宮里)k.miyazato@araip.jp、TEL: 03-5244-5138 まで。

5. 勉強会「昭和館の見学」のお知らせ - 総会と同日実施 - ご参加の後は、総会へ。

令和2年1月の小田原城見学を最後に中断していた勉強会を下記にて、再開します。(詳細は同封のご案内をご覧ください。)

総会と同日実施ですので、そのまま総会にご出席ください。

日 時：令和5年5月27日(土) 11時。

集 合：10時50分(時間厳守)、昭和館内の1階ロビー。

見 学：11時から約2時間かけて館内見学。13時頃1階ロビーに集合。

入場料：当会にて負担。(大人300円、65才以上270円、団体割引有)

見学者は入館時にマスクの着用と検温があります。

お申込み・問合せ先

5月19日(金)までにお名前と電話番号を事務局(03-5244-5138)までお願いします。

6. いま旬のホームページ(HP)をご覧ください。https://joetsu.gr.jp/

おかげさまで、JネットHPの閲覧は、国内、海外を合わせて増え続けています。内容も、上越市の四季の写真他、掲載は多様です。ぜひとも、「ふるさと上越ネットワーク」を検索し、ご覧ください。

Jネット会員は、上越タイムス電子版ならびに上越ケーブルビジョン(JCV)の動画を閲覧できます。上越妙高エリアの今をお楽しみください。

◎上越タイムス電子版、上越ケーブルビジョンへのアクセス方法(会員のみ)

- ① HP右肩「Jネット会員メニュー」をクリック ② 「ログインはこちら」をクリックし各社のHPへ
- ③ 下記のID・メールアドレス・パスワードにてログインしてください。



東京浦川原会 第33回定時総会・懇親会を開催

東京浦川原会（大嶋勇会長）は、3月19日（日）、上野精養軒にて4年ぶりに、定時総会・懇親会を開催しました。同会会員はじめ、上越から上越市議会議長（浦川原選出）や浦川原総合事務所長、浦川原地域協議会会長、ならびに友誼団体を含む約100名ほどが出席、久方ぶりながらも盛大に催されました。



会長はコロナ禍での会活動のご苦勞にも触れられ、同じ思いの友会からは連帯のご挨拶もあり、和やかな集まりとなりました。さらには、浦川原名物品のあたる抽選会もあって、盛り上がり、最後は、全員で「ふるさと」の合唱で締めました。ふるさと浦川原を思いきり楽しんだ会となりました。

とれたて上越

上越の行事・展示会

(1) 第24回高田城ロードレース

令和5年6月4日（日）旧上越市にて開催

義のこころ 謙信公ゆかりの地がレースの舞台！！

上越市は、上杉謙信公・松平忠輝公のふるさと。その城下町を走る高田城ロードレースです。高田城や春日山城など、その歴史と景観を楽しみながら、走り抜く初夏のイベントです。コースは、ハーフ、10km,5km。他に小中高生やファミリー向けコースもあります。

お問い合わせ：上越市スポーツ協会
TEL 025-525-4119



(2) 逸品展示「どうする康政」榊原資料展 上越市立歴史博物館

期限を区切って、榊原家保管の榊原康政公資料を展示しています。ご興味のある方は、ぜひご覧ください。

展示期間

令和5年3月25日（土曜日）～6月18日（日曜日）

9：00～17：00 休館：月曜日、祝日の翌日。

（ゴールデンウィーク中は、無休）

上越市立歴史博物館

〒943-0835 新潟県上越市本城町7-7 Tel：025-524-3120



榊原康政公画像

（榊原家所蔵・公益財団法人旧高田藩和親会管理、新潟県指定文化財）

(1)「参勤交代うおーく」から3年、上越・加賀両市の交流、深まる

令和元年7月末に日本橋を出発した加賀聖城高校「参勤交代うおーく」を中間点の上越市では、300名あまりの上越市民が出迎えました。

これを機に、上越市では、加越交流市民会議を結成し、その後、その交流種火は、両市のロータリークラブから市議、両市レベルの交流へと広がっています。

その交流の一環として、4月8日(土)に加賀市より150名が来越、高田城址公園にて、両市高校生によるバンド演奏や加賀物産販売が開かれました。

来年の北陸新幹線の福井への延線もあり、ますます交流は広がっていくものと期待されています。

撮影 小坂 靖至さん



上越産品販売のお知らせ

● Jネットふるさと市場として「取次販売商品一覧」を同封します。

現行の各社パンフに加えて、取次販売商品一覧(A4判1枚)を同封にてお届けします。会員は送料無料でお取り寄せができますので、どうぞご利用ください。

● 上越特産市場 上越市運営による、上越農林水産物・特産品のネットショッピングモール「上越特産市場」です。 「上越特産市場 <https://www.joetsu-tokusan.jp/login/input.php>」からご覧いただき、お申込み下さい。

● 新潟・上越妙高「うまさ直送!雪国マルシェ」

「雪国マルシェ」はしばらくの間お休みです。再開がきまりましたら、お知らせいたします。

● 常設店舗「雪国商店」

場所 有楽町交通会館1F 営業時間 11:00 - 19:00 年中無休(年末年始は休業)

お問合せ: JCV 東京情報センター TEL: 03-5218-7730

瀧川鯉橋師匠 出演予定

鯉橋: 090-4730-9032 rik_yoh_taki@taupe.plala.or.jp (鯉橋メール)

◇ 5/4(木)・5(金) 仙台「花座」(青葉区一番町)

時間: 第一部・午前11時~午後1時、

第二部・午後2時~4時

木戸銭: 2,000円(65才以上1,800円)

出演: 鯉橋、金の助ほか

お問合せ: 022-796-0873(仙台「花座」)

◇ 5/7(日)~12(金)

飛鳥IIに落語アトラクションとして乗船

コース: 横浜~宮崎~横浜

お問合せ: 03-5213-9987(郵船トラベル)

◇ 5/21(日) 芸協まつり

午前10時半~11時15分の教室企画に出演。

会場: 芸能花伝舎(西新宿)

お問合せ: 03-5909-3080(芸協)

◇ 5/21(日) 梶原いろは亭「なかよしおじさんズ」

時間: 午後1時~3時 木戸銭: 2,500円

出演: 鯉橋、小助六、夢丸

会場: 梶原いろは亭(北区上中里3-1-4)

お問合せ: 03-6322-1622(いろは亭)

◇ 5/21(日)~30(火) 新宿末広亭・夜の部

時間: 午後4時半~8時半 木戸銭: 3,000円(65才以上2,700円)

主任: 瀧川鯉八 ※鯉橋は午後6時ごろの出演

お問合せ: 03-3351-2974(末広亭)

◇ 6/1(木)~5(月) 浅草演芸ホール・昼の部

時間: 正午~4時半 木戸銭: 3,000円

主任: 瀧川鯉昇 ※鯉橋は午後1時の交互出演

お問合せ: 03-3841-6545(浅草演芸ホール)

☆ブログ~七転び八起の末のホンダラダ~ <https://blog.goo.ne.jp/rikyoh3194> もぜひご覧ください。 鯉橋拝

たより(令和5年3月10日号)に続き、桑山 有紀さんにご寄稿いただきました。

エドウィン・ダンがやって来た頃、直江津は鉄道建設の真っ只中だった。(その2)

桑山 有紀

【直江津～新潟間は最初は私設鉄道だった。設立・運営には明治の二大英傑が尽力した。】

中・下越地方は米穀や石油の大産地でしたが、荒れた天候では海上輸送は困難だったため、年間を通し安定した大規模輸送手段として鉄道は不可欠でした。しかし直江津以北の官設による建設は一度計画されたものの日清戦争による財政難で実現しませんでした。

そこで日本石油会社(現 ENEOS) 創業者の山口権三郎等の中・下越の実業家達は、渋沢栄一を発起人代表として M27 年に北越鉄道を設立しました。上越出身の前島密は「(直江津から東京への鉄道のみでは)交通上、越後の富源を開くには甚だ不完全」と鉄道の不備を憂慮しており、地元や渋沢からの要請に応じ社長に就任しました。



渋沢 栄一
(北越鉄道発起人代表)



前島 密
(北越鉄道初代社長)

M29 年に着工、「日本海沿いでは断崖の下集落を縫うような隧道の建設、また越後平野では低湿地帯が多いという悪条件等で非常に困難な工事でした。前島は金策に奔走し、作業者や工事反対を唱える市民達に鉄道の必要性を説いて回った」(ZENTOKU2019 秋号による)とのことです。社長在任は1年間程でしたが、その後も長く監査役として尽力しました。前島は「日本郵便の父」として有名ですが鉄道建設・経営でも卓越した才覚の持主でした。郵政に携わる前、大隈重信の要請で作成した「鉄道臆測」(東海道鉄道に関する建設費、営業費、収支を算出)は、井上勝が「鉄道予算の元祖」と言う程の出来ばえでした。なお北越鉄道以外にも関西鉄道や京釜鉄道でも社長を務めました。

難工事の末 M32 年に沼垂(新潟市街地から離れた信濃川東岸)迄が開通し、直江津橋付近にあった直江津駅が現位置へ移転しました。終点駅を巡る対立で沼垂駅にて爆破事件が生じましたが M37 年には新潟～直江津が全通しました。

「直江津の歴史」(S46 年 4 発行)によれば、ダンは日露戦争の出兵兵士達を直江津駅や黒井駅で見送ったとのことです。又 M36 年発行の「北越鉄道案内」(info:ndljp/pid/988188 国会図書館データ)の直江津駅の項では、町名の由来や銀行や会社、旅館等のお店、観光名所が記されています。東京亭という西洋料理店もありダン達も洋食を味わったでしょう。また同案内のキャッチコピーは「上野発一番列車に乗れば、その日の午後 10 時 40 分に新潟に着く」でした。当日中の新潟から東京への移動はとても魅力的だったのでしょう。

現在、直江津駅 2 番ホームに「新潟県鉄道発祥の地」直江津駅「0」キロポスト(キロポストは線路設備の位置を示し「0」キロポストは起点を表す)のプレートがあります。これは直江津～沼垂間の開通時に設置されたと言われます。その後北越鉄道の国有化後に高崎～新潟間が信越線になった以降も、「0」キロポストは直江津駅に残りました。これは起点を 0 とする通常運営とは異なると思います。直江津駅での存続は、建設従事者達への感謝の念から「新潟県鉄道の発祥の地」を後世に伝えたいという思いが結実したものでしょう。

(その 3 に続く)



0 キロポストプレート

ふるさと 春

けんけんばやと乾びし春の土
缶蹴りの缶のからころ山笑ふ

山間の川の濁流花辛夷

花見舟櫂を休むる枝垂れ下

乗つ込みの鮎の背鰭の立ち騒ぐ

上野 邦治

春祭稽古の太鼓聞こへけり

草の芽の夕日の土手を帰りけり

種を蒔く農夫に花の名を訊ね

城址の満開の花風の中

葉桜の先に触るるや肩車

宇賀田 洋巳



上越市からのお知らせ

●ふるさと納税の取り組みを拡充しました

上越市では、ふるさと納税を受け付けています。令和4年8月より、ふるさと納税ポータルサイトの活用を開始するとともに、上越産品の魅力発信と需要を高めるため、様々な産品を寄附に対するお礼の品に追加しました。

『ふるさと上越』への温かい応援をお願いいたします。

【参加しているポータルサイト（6サイト）】

- ・ANA のふるさと納税 ・さとふる ・ふるさとチョイス
- ・JREMALL ふるさと納税 ・ふるぽ ・楽天ふるさと納税

【主なお礼の品】

① 上越市への来訪機会を創出するもの

- ・市内飲食店食事券（料亭、ワイナリー、寿司店等）・市内宿泊施設利用券（温泉宿、ゲストハウス等）
- ・体験サービス（施設貸し切り、市内観光プラン、観光列車乗車券、墓参り、掃除、草刈り、新聞定期購読等）

② 食料品 米、餅、味噌、菓子、野菜、果物、肉、酒類（日本酒、ワイン等）、

お茶、その他飲料品、さかきん発酵鍋 等

③ その他 工業製品、雑貨など

照会先：総合政策課 企画調整係（電話：025-520-5625）



上越産の美味しいお米もたくさんご用意しています。



「えちごトキめきリゾート雪月花（せつげっか）」
お食事付プラン乗車券もご用意しています。

●「上越市を語ろう」一皆様の手で上越市の魅力を発信

上越に関心や興味をお持ちの方は大勢おられますが、上越は意外と知られていないのが現実です。

そこで、上越応援団たる会員の皆様には、広宣の最も強力な手段「口コミ」を活用し、リモートを含むお集まりの際には、ひと言、上越についてふれていただき、上越の宣伝をしていただきたいと思います。よろしくお願いいたします。



撮影 松本 栄規さん

●●●●● ネットからのお知らせとお願い ●●●●●

記事、寄稿、投稿、メッセージをお願いします。

会員の皆様には、ぜひとも、ご自分の思い出やご経験、上越魅力、上越に役立ちそうなこと、会員の親睦を深めることなどなんでも結構ですので、記事（1200字程度まで）と写真を送信いただければ幸いです。皆さまの貴重なお話は、読み手を元気にします。

送信先 事務局：k.miyazato@araip.co.jp

コロナ禍の折、皆様には、くれぐれもご健康にご留意され、お過ごしください。

◎次号「たより」は令和5年6月10日の発行です。

